

合格体験記

慶應義塾大学 商学部 進学

他の主な合格校：立教大学経済学部、法政大学経営学部、東洋大学経営学部

1 志望校決定について

自分が小さい頃から勤めたいと思っていた企業が慶應を多く採用していたから。
高校1年生の冬。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

1年生はとにかく勉強が大嫌いで全くやっていませんでした。元々高校にも推薦で滑り込んでいたため、テストや模試の成績は常に下から20番目くらいを取っていました。1年生の冬に担任の先生から「お前にいける大学はない」と言われて火がついてからは、毎日平日は4時間、休日は、6時間以上は勉強するようにしました。高2の1年間は英語しか勉強してなかったと思います。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

部活が忙しかったので部活がオフの日をとにかく大切にしました。友達との遊びはなるべく断って勉強するようにしました。過去問は、高3の4月に第一志望校の問題を1年分解いてみてどんな問題が出るか、今どのくらい取れるかなどを確認し、勉強計画をたてました。8月までには10年分を一周し、12月ごろにもう一周しました。

また、学校の授業は自分が使う科目の授業はしっかり受け、定期テストも1位狙うつもりでやるべきだと思います！

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

英単語は学校で配られたターゲット1900を使い込みました。過去問などで知らない単語が出てきたときは雑でしたがノートにまとめておいて、後で見返せるようにしました。vintageは、2年生のうちに5周くらいしました。問題集とかはあまり使わなかったです。塾の授業で扱う問題などをやっていました。

(4) 模試の活用方法

高2の1年間はずっと学年順位は50位くらいで伸びないで止まっていたましたが、気にせず勉強を続けました。そのおかげで3年に上がってからはほぼずっと3科目の合計は学年順位が1桁台でした。だから、成績が伸びないからといって勉強方法を変えたりするのではなく気にせず自分のやり方を貫き通すことが大事だと思います！

判定には一喜一憂するタイプでした。まあ、喜ぶことも大事だと思います。

(5) 予備校の活用方法

東進ハイスクールに通っていました。私は最初、本当に頭が悪くて自分1人では何していいわからない状態だったので塾に入って本当に良かったと思っています。

ですが、講座をとるときは気をつけていました。私は、日本史は学校の授業がわかりやすかったし、自分でもできると思ったので全く講座はとりませんでした。予備校が提案してくる講座を簡単に全部取ってしまうと後々大変になると思うのでよく考えてから取るようにした方がいいと思います！

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

部活動でたくさん辛い経験をしたので、勉強は、夏は涼しい部屋で、冬は暖かい部屋で座ってペン動かすだけなので部活よりも本当に楽に感じました。文化祭とはあまり両立できなかったです。文化祭準備はとても大変なので今のうちにしっかり勉強しといて焦らないようにしといた方がいいです。

(7) 後輩へのアドバイス

勉強を始めた頃は、友達に慶應を目指していることを言うと「無理でしょ」と言われたし、父からも「慶應は絶対無理だから記念受験にしろ」とまで言われました。それでも絶対諦めずに勉強したら合格できたので、今の自分と志望校にどれだけ差があったとしても、誰に何を言われたとしても、「第一志望は、譲れない」です！

譲らないでください！努力次第でどうにかなると思います。

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

最高の3年間でした(^^)

(9) 合格した時の喜び

神は見ていた…と思って号泣しました。